

NPO法人 国際社会人剣道クラブ中国地区クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

第277号 2025（令和7）年4月発行

正心

SEI

SHIN

会長 三好 伸二

発行責任者 幹事長 寺本 昭彦

特定非営利活動法人 国際社会人剣道クラブ <http://www.npo-igkd.or.jp>

【第277号の主な事項】

- ① 4月例会(宿泊)は、4月5日(土)～6日(日)に広島市にて、無事に終了しました。
- ② 2025(令和7)年度全国例会(理事会・通常総会)は、5月3日(祝・土)、京都市にて開催されます。
- ③ 6月例会(宿泊)は、6月14日(土)～15日(日)、山口市で開催致します。
- ④ 新規会員の確保に向けて、引き続き会員一人ひとりの活動により、一名でも多くの新会員の獲得にご協力をお願い致します。



2025(令和7)年度 4月新年度例会『宿泊』＝広島県広島市＝のご報告

4月例会は、「広島刑務所武道場 修武館」において、4月5日(土)～6日(日)に開催しました。「修武館」は昨年改築されたばかりの大変立派な武道場で、剣道場(試合場2面)と柔道場(試合場2面)を備えた広々とした施設です。冷暖房完備されており、快適で素晴らしい武道場です。

今例会には、IGKC本部の会計監査実施のため広島市を訪れました「曾根理事長、高好監事、幡野先生」の3先生にも参加をしていただきました。また、地元からは、広島刑務所から剣道教士八段 香川先生をはじめ国武先生、石橋先生、並びに福山市より松元先生もご参加いただきました。

第1日目(4/5)14時過ぎには、会員23名、地元剣士4名の総勢27名が集合。松田先生の号令により準備運動・素振りから始まり、三好会長による剣道講話に移りました。



【剣道講話】

*****「打ち方【実践編】」剣道教士八段 三好伸二先生*****

前月例会では、これまでお話をしてきた「上半身の使い方」「竹刀の持ち方・振り方」、「姿勢」について実践していただきました。これらは剣道において非常に大切な要素であり、どれか一つを間違えると打突も正しくできなくなります。一つひとつ思い出しながら、しっかりと稽古に取り組んできたいと思います。

この内容は、ある大先生からご指導いただいたものであり、「切っ先がまず



動かなければいけない。右手に力が入っていると刀は切れず、剣道ではない。竹刀は左の二の腕で支える。」とご指導いただきました。さらに、打ち方は、実際に見せていただきながら「小指の線で竹刀を左腕と右腕を挟むように打つ。」とご指導いただきました。ただし、それ以上の細かい説明はありませんでした。おそらく「自分で工夫してみなさい」という意味だったのだと思います。そこで皆さんに宿題です。「打ち方」について、自分で考え、実践し、次回の月例会で意見を聞かせていただきたいと思います。その打ち方の考え・実践するにあたっては、まず竹刀の持ち方の基本ができてないといけません。竹刀の持ち方については、i.左手は竹刀の柄頭を半掛け、ii.右手は上から軽く添えて、柄を手の平を添えて握り、盃をもってお酒を注いでいただくように親指を床と並行に置く(右手の手の内に遊びがあると、右手に力を入れると手元が上がってしまい、打ち切れない。)ことを基本として押さえておいてください。「良い打ち方」とは、「自分にとって一番早く小さく打てる面」であるはずですが、全日本選手権で何度も優勝している選手の映像を見ると、左手しか動いていません。私の考えは、左手小指が縮まった状態で、左手首が動いた瞬間に右手が伸びている状態(左は引手、右は押し手となる一瞬)が理想だと思っています。ある大先生も同じ打ち方されていたと思います。左手首を少し動かすだけでも剣先は大きく動きます。一方、右手で打つと剣先があまり上がらず、振り切れないため、しっかりとした打突ができない。皆さんに、自分にとって一番早く小さく打てる面を研究してみたい。そして、もし私の考えを超える良い方法があれば、ぜひ教えてください。

最後に、5月の八段審査を受ける方もおられると思います。審査では「攻めて打つ」(「攻め」の形を出す)ことが大切です。「攻め」の形には、①下からの攻め、②鰐元への攻め、③相手の中心を取った攻め、④相手の喉元への攻め、などがあります。触刃の間からの攻め代で「攻め・攻め」そして「攻め」からの打突を行うことが重要です。また打突については、①攻めて打つ時は、攻めて、相手が防御で崩れ、元に戻ろうとするとところを打突、②ゆっくり攻めて、相手が出ようとするところを打突、③ゆっくり攻めて、相手が動かなければそのまま攻め打ち、鋭く攻めてそのまま攻め打ちなど理合のそった打突を行うことが大切です。

*****【記：寺本昭彦記録メモより】*****

【日本剣道形稽古】

森副会長から剣道形稽古開始前に、①中段の構えは、左親指の第一関節が臍の高さ。竹刀剣道でも同じ。②剣道形の重要なポイントについて、i. 太刀の形での打太刀は、機(仕太刀が十分な気位になったところ)を見て打つこと。ii. 全てにおいて後足の引き付けが伴うこと。iii. 全てにおいて一拍子で打つこと。③熊本先生からご指導いただいた注意すべき点(i. 立ち合い順序の所作・刀の取扱ひ方(太刀を置いて、小太刀は内側に置く)、ii. 正しい刀の操作。特に鎬の使い方、iii. 打太刀・仕太刀の役割を理解して行うこと。打太刀は、間合いを正しく、機を捉え、打突部位を正して打突。仕太刀は、機会の逃さず、正しく正確に打突すること(太刀三本目の打太刀の突きは、水月を突くが、胸部を突いている方が多い。仕太刀の突きは胸部。)。iv. 残心は、気を緩めることなく、充実した気迫であること。大阪の池田勇治先生は「気迫の無い剣道形は、気の抜けたビールである。」という表現で気迫の大切さを述べられている。(それが迫真性に繋がることとなる)、ことについて解説・指導をいただき、剣道形稽古に移り、太刀七本・小太刀三本を双方入れ替わり、稽古を行いました。

最後に総評として、森副会長より「i. 小太刀一本目・二本目の仕太刀の受け流しは、刃先を後ろに。ii. 小太刀三本目の仕太刀のすり落としは、打太刀の左ではなく、右斜めにすり落とすこと。iii. 剣道形は全てに通じるものであり、剣道形を繰り返し稽古してください。」と注意・ご指導いただき、三好会長より「日本剣道形は、解説書に書いてあるとおりである。七本目の仕太刀の右胴打ちは、打太刀の左胴の肋骨から腰骨の間を打つこと。刀はその部分しか切れない」と注意・ご指導いただきました。



【写真撮影、座礼、記念品贈呈】

15時10分、参加者全員で記念撮影を行った後、座礼。三好会長より開会にあたり、本例会に本部から曾根理事長他2名・広島刑務所から香川先生他2名のご参加並び素晴らしい広島刑務所武道場 修武館にて稽古を実施させていただく御礼のご挨拶をいただきました。

続いて曾根理事長より、昨年11月の福山での全国例会が中国地区クラブの主管で成功裏に終わったこと及び今例会に本部から参加させていただくことに対する御礼のご挨拶をいただきました。

座礼に続き、2月福山市での審査会にて五段に昇段された前原先生(福山市)に三好会長より記念品を贈呈しました。

前原先生からは「国剣クラブの先生方のご指導により、五段に昇段することができました。六段昇段を目指して頑張ります。」と強い意志表明がありました。



【基本打ち稽古】

平川副会長の号令の下、基本打ち稽古を59才以下と60才以上に分かれて、①面を打たせる切り返し:一拍子で打つこと。②面打ち:打つと同時に左足は引き付けておく。打った状態のまますり抜ける。③小手打ち:合気になって小手を打ち、打った後も直ぐに打てるように縁を切らないこと。④小手面打ち:面に対する応じ技:打った後はすり抜けて残心を取ること。⑤面に対する応じ技:合気となって、相手よりも前に素早く打つこと。⑥小手に対する応じ技。⑦面三本打ち込み。⑧面・小手面・胴・面の打ち込み。⑨切り返し:発声、伸ばすのではなく、切った方が長くしっかり打てる。と注意いただきながら実施しました。



【稽古会】

16時00分過ぎ、曾根教士八段、三好教士八段、平川教士八段、森教士八段、香川教士八段を講師陣とする指導稽古の開始です。普段お会いすることができない先生方を含む指導陣であり、昇段審査会も目前に控えていることから、我が先にと順番取りの競争であり、緊張感は並々ならぬものを感じるものでした。

5先生の剣風は異なるものの、“心の変化の兆しを捉えて打ち切る一本”は、何時もながら納得されるものでした。順番取りが出来なければ、積極的に相手を作り、お互い稽古に集中していました。

第一日目の稽古終了にあたり、曾根理事長より「中国地区クラブの例会(剣道講話・剣道形・基本稽古・指導稽古の流れ)の良い点と例会参加の御礼」について講評・ご挨拶をいただき、三好会長より「本部並びに広島刑務所からの例会参加の御礼と審査における注意点(審査は、横から見ていることを意識し、「攻め」の表現を出し、無心で攻めること)」についてご指導・ご挨拶をいただきました。



曾根理事長



三好会長



平川副会長



森副会長



香川先生

【宿泊・懇親会】

稽古終了後、宿泊者一同は稽古会場から車で約15分の場所にある宿泊先「広島インテリジェントホテルアネックス」に移動し、ホテルのお風呂で汗を流しました。

19時からは、ホテルより徒歩約20分の「牡蠣小屋 海鮮居酒屋 豊丸水産」



広島新幹線口店」にて懇親会を開催。曾根理事長の乾杯のご発声で幕を開けました。懇親会には高好先生、幡野先生にもご参加いただき、稽古で共に汗を流した仲間たちとともに楽しいひとときを過ごしました。新鮮な海の幸と広島のお酒を味わいながら、剣道談議に花を咲き、会話は次第にヒートアップ。賑やかで充実した時間はあっという間に過ぎていきました。

21時、金尾副会長による締めの乾杯で盛会のうちに閉宴。翌朝の朝稽古の開始時間を確認し、名残を惜しみつつ解散となりました。

【朝稽古会】

第2日目(4/6) 6時30分、前日に引き続き「広島刑務所武道館 修武館」に集合し、春の朝の肌寒さを感じながら、写真撮影と座礼を行いました。はじめに金尾副会長よりご挨拶をいただき、直ちに稽古を開始。

この日も熟年組・若手組とも元気に基本打ち稽古を行った後、指導稽古・お互い稽古へと進みました。参加した13名の会員は、終始熱心に稽古に取り組み、終盤には疲れの色も見えましたが、稽古を終えた皆さんに表情には満足の笑顔があふれていました。

2日間にわたる稽古会の締めくくりとして、再び金尾副会長よりご挨拶をいただき、全日程を終了しました。(解散：7時30分過ぎ)

その後、ホテルに戻り朝食をとったのち、「お疲れ様！お気をつけて！」声を掛け合いながら、それぞれ帰路につきました。(10時)

IGKC本部より曾根理事長、高好監事、幡野先生には2日間にわたりご指導・ご参加いただき、誠にありがとうございました。なお、来年度からの本部会計監査は他の地区で行われる予定であり、曾根理事長、高好監事の中国地区クラブ月例会へのご参加は今回が最後になるようです。ご一緒に稽古ができなくなるのは大変寂しく感じますが、今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

～お疲れ様でした。～

(剣道講師陣) 剣道教士八段 曾根孝悦、剣道教士八段 三好伸二、剣道教士八段 平川龍馬、

剣道教士八段 森治輔、(部外講師) 剣道教士八段 香川善雅

(参加会員) 三好伸二、平川龍馬、森治輔、石崎雄亮、井上雅史、岩田啓司、上野和雄、岡本修司、沖田和清、奥野武男、尾崎貫一、金尾静一、樺山陽介、川崎康裕、木谷直俊、小下明人、船浪均、古澤誠、前原由和、松田悟、山田美紀、寺本昭彦

(本部) 曾根孝悦、高好恵一、幡野幸一

(ビジター) 松元先生(京都府)、国武先生(広島市)、石橋先生(広島市)

(敬称略、順不同、朝稽古会参加)



2025(令和)7年度 5月全国例会(理事会・通常総会) =のご案内

5月例会は、京都市で開催される全国例会となります。

全国例会では「通常総会」が開催されますので、別途NPO法人国際社会人剣道クラブ本部より、個々人宛にご案内が届きます。一人でも「定期総会」に多くの参加をお願い致します。なお、欠席される場合は、議決権行使のための返信用はがきは、必ずご返信下さい。

【定時総会】

日 時：2025年5月3日(金)

場 所：京都府京都市 「ホテルオークラ京都」

主 催：NPO 法人国際社会人剣道クラブ

2025(令和7)年度 6月例会『宿泊』＝山口県山口市＝のご案内(予定)

【稽古会】＝宿泊例会＝

日 時：2025(令和7)年6月14日(土) 14:00～16:30 (集合13:30)
場 所：『山口刑務所道場』

【宿泊】

日 時：2025(令和7)年6月14日(土)
場 所：『ホテル喜良久(きらく)』

【懇親会】

日 時：2025(令和7)年6月14日(土) 19:00～21:00の予定です。
場 所：『赤と黒』

【朝稽古】

日 時：2025(令和7)年6月15日(日) 6:30～7:30
場 所：『山口武徳殿(山口県警体育館)』

2025(令和7)年度 7月例会『日帰り』＝広島県福山市＝のご案内(予定)

【稽古会】＝日帰り例会＝

日 時：2025(令和7)年7月12日(土) 14:00～16:30 (集合13:30)
場 所：『エフピコアリーナふくやま 剣道場』

【宿泊】

日 時：2025(令和7)年7月12日(土)
場 所：『ルートイングランティア福山』

【懇親会】

日 時：2025(令和7)年7月12日(土) 19:00～21:00の予定です。
場 所：『ルートイングランティア福山』

【朝稽古】

日 時：2025(令和7)年7月13日(日) 6:30～7:30 (集合時間6:30)
場 所：『エフピコアリーナふくやま 剣道場』 予定

2025(令和7)年度 8月例会『日帰り』＝岡山県笠岡市＝のご案内(予定)

日 時：2025(令和7)年8月9日(土)～10日(日)
場 所：岡山県笠岡市
例会監事：尾崎 貫一先生

2025(令和7)年度 9月例会『宿泊』＝鳥取県米子市＝のご案内(予定)

日 時：2025(令和7)年9月20日(土)～21日(日)
場 所：鳥取県米子市
例会監事：松原 孝史先生

お知らせ！！(新会員紹介)

【新入会、誠におめでとうございます！！】

4月、ご入会された先生をご紹介します。

氏名：松元 宏樹(まつもと ひろき)先生

住所：京都府京都市 年齢 47 歳 剣道：七段

勤務先：中国山科サービス株式会社 スポンサー：金尾副会長



2025(令和7)年度国際交流事業について

2025年度国際交流事業は、以下のとおりです。

是非、国際交流事業における感動・感謝を体感しましょう！学ぶことはきっと沢山あります。

済 2024年度国際都市剣道文化交流大会

期間：3月14日(金)～16日(日) 場所：台湾(高雄)

参加者：木谷先生、沖田先生、上野先生、小下先生、岩田先生、岩崎(公彦)先生、
岩崎(美穂)先生、寺本先生

成績：個人戦 女子 40 才以上の部 岩崎美穂先生 準優勝

男子 45 才以上 64 才未満の部 岩崎公彦先生 第三位

○ 2025年度第37回国際オープン韓国社会人剣道大会

期間：6月7日(土)～8日(日) 場所：韓国(ソウル)

参加者予定：岩崎(公彦)先生、岩崎(美穂)先生、上野先生、川崎先生、寺本先生

○ 国際交流 (ラトビア(リガ))

期間：7月4日(金)～14日(日)

参加者予定：沖田先生、小下先生

○ 国際交流 (オーストリア等)

期間：10月3日(金)～14日(火)

お願い！！

新入会員(在住外国人剣士の方も)のご推薦をお願いします。

武者修行

東北地区クラブ	幹事長	三條 貞夫	0238-23-2206	e-mail: sanjo@omn.ne.jp
関東地区クラブ	幹事長	中川 岳人	090-9145-8943	e-mail: tetujin-30@jp-meguro4.com
東海地区クラブ	幹事長	足立 誠	080-1007-9741	e-mail: makoto.adachi151@gmail.com
近畿地区クラブ	幹事長	久保 達也	090-6056-7049	e-mail: tatsuyakubotatsuya@gmail.com
九州地区クラブ	幹事長	池永 祐一郎	090-2158-0769	e-mail: yuichi.kng@gmail.com